

『源氏物語』の翻訳状況

伊藤鉄也

総合研究大学院大学教授 日本文学研究専攻／人間文化研究機構 国文学研究資料館教授

『源氏物語』は世界各国の言語に翻訳されています。その端緒となったのが、1882（明治15）年に刊行された末松謙澄の英訳でした。そして今も新たな翻訳が進んでいるのですが、正確な情報はなかなかつかめませんでした。ようやく、現状が見えてきたので、以下に報告します。

◆刊行されたもの 24種類

アラビア語・イタリア語・英語・オランダ語・クロアチア語・スウェーデン語・スペイン語・セルビア語・タミール語・チェコ語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・テルグ語・ドイツ語・日本語・ハンガリー語・ハングル・パンジャビ語・ヒンディー語・フィンランド語・フランス語・モンゴル語・ロシア語・ウルドゥー語（2009年3月現在）

◆現在進行中のもの 4種類

ウクライナ語（中断）・トルコ語（出版待ち）・エスペラント（作成中）・マンマー語（作成中）

◆未確認（あるらしい、というもの） 6種類

アッサム語・オリヤー語・スロベニア語・ヘブライ語・ポルトガル語・マラヤラム語

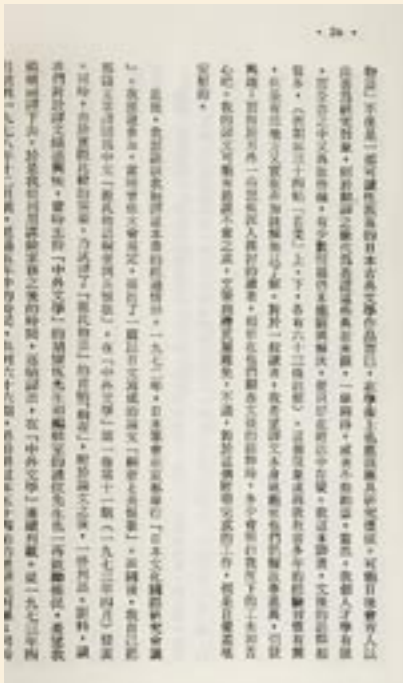
すでに翻訳された言語についても、また新たなチャレンジがなされています。イタリア語、英語、オランダ語、フィンランド語（宇治十帖）、フランス語などなど、再度の翻訳が試みられています。

『源氏物語』はいつの時代にも、世界中で興味と関心が持たれています。これ以外の最新情報や、補訂すべき情報をお持ちの方は、どうかご教示のほどを、よろしく願います。



現代日本語から翻訳されたハングル本セット

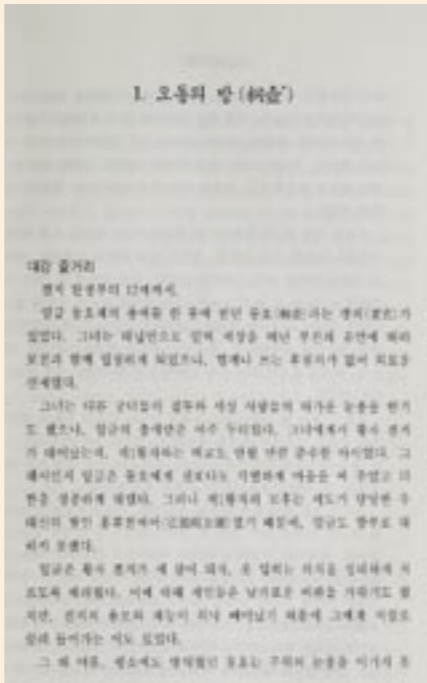
さまざまな翻訳本の本文。第1巻「桐壺(きりつぼ)」の巻頭の記事「いづれの御（おほむ）時にか、女御（にょうご）、更衣（かうい）あまたさぶらひたまひけるなかに、いとやむごとなき際（きわ）にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり」を引用している。



中国語（繁体字）



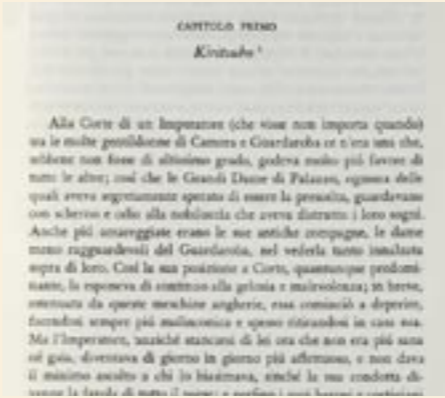
中国語（简体字）



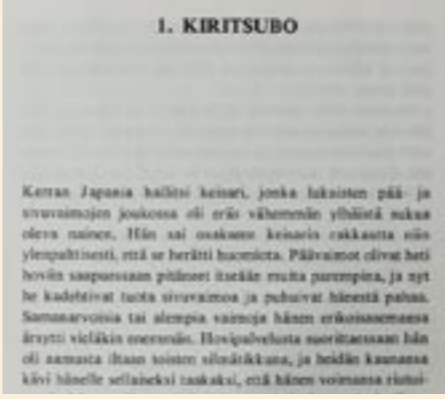
ハングル



英語



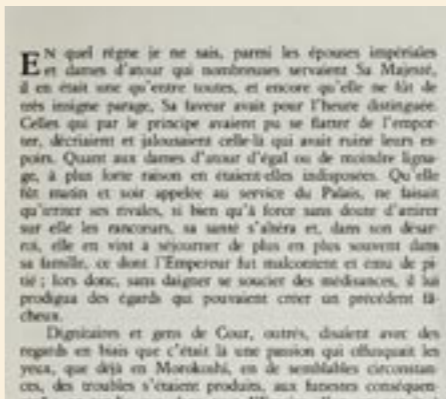
イタリア語



フィンランド語



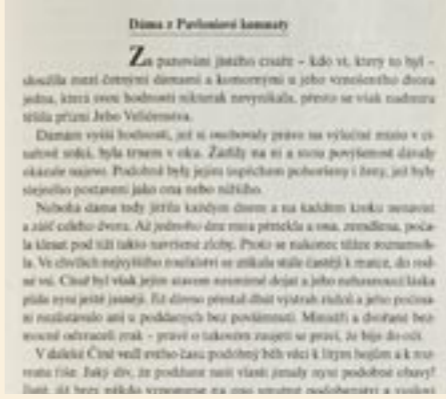
ヒンディー語



フランス語



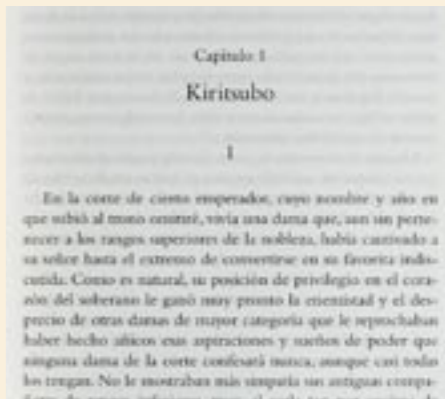
ドイツ語



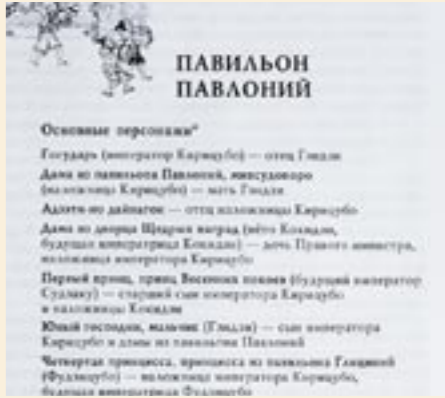
チェコ語



タミール語



スペイン語



ロシア語



クロアチア語



パンジャビ語